

●1953年8月14日の山城大水害 翌日の写真を提供

山城大水害の翌日の写真を井手町の「料亭八百忠」さんの女将さんに見せていただき、複写させていただきました。忘れてはいけない水害ですのでここに載せておきます。(建物は現存しているらしい)



農園部会だより

●7月1日(火)夏野菜のお世話と草刈りを行いました。

夏野菜を植えている周囲に除草剤を散布すると作業が楽になりますが、夏野菜の生育にも影響が出そうだし、健康上もどうなのか分からないため、やましろ里山の会では使用していません。そのため、春先から中秋ぐらいまでは草の成長と草刈りの競争で、暑さもあり非常に疲れます。そこで、かぼちゃ・スイカ・マクワ・万願寺の周囲に麻ドングロス(麻袋)を敷き詰めました。この麻袋は、購入したもので

はなく、廃棄に困っているお店より譲り受けたもので、しっかりとした素材なので防草シートとして里山農園では大変に重宝しています。ごみの減量にも繋がり環境を守ることにも繋がります。また、近畿では昨年より21日早い6月27日に梅雨明けが発表されました。農作物にとっては恵みの雨について心配しないといけません。農作業する人たちにとっては熱中症にも気をつけないといけません!これで大丈夫という訳ではありませんが、ファン付きベストで対策もしています。



スイカやかぼちゃも大きくなりました。



麻ドングロスの敷き詰め作業



ファン付きベスト

●オオムラサキの成虫を確認したとの報告がありました。 6月29日(日)17時30分頃

報告者は中学生の中沢君です。中沢君と吉村君の2人は21日の日曜日に京都市左京区にある大原小中学校でのオオムラサキ放蝶会に参加し体験してきたので、里山農園のエノキの上空での飛翔状況から、オオムラサキと判断してまず間違いないでしょう。里山の会は結成(1996年)以来調査観察を続けてきましたが、成虫の確認は4回程度しか記録に無い大変難しいことです。特に

ここ2年は冬の幼虫観察でも観察できていなかったのです。こうした折に吉村君が3月13日に幼虫を発見して、そして6月29日に中沢君がオオムラサキの成虫の飛翔を確認されたことは大きな成果です。里山農園には生息が出来なくなってしまったのだろうかと危惧していましたが、2人の熱心な観察調査活動で幼虫や成虫の大発見がされて、オオムラサキの生育地が継続出来ていることが証明されました。中学生2人の行動は非常に立派な成果です。

## ●夏の昆虫観察会 7月5日(土)

オオムラサキの幼虫や成虫の確認が続いているなかでの今年の昆虫観察会は大変期待が膨らむ取組になっているのではないのでしょうか。当日の集合は10時に里山農園(駐車場あり)で開始します。この日の指導は前近畿大学教授の桜谷保之先生が名古屋からのお越しをお願いします。スタッフは里山の会昆虫部会が担当させていただきます。ご参加の皆さんは熱中症対策を十分にしてお参加ください。午後は自由参加ですが、生駒山へオオムラサキの飛翔を見に行く予定ですので、関心のある方は参加をお願いいたします。

# 夏の昆虫観察会

## 7月5日(土)

里山農園付近ではできるだけ自然環境のままの状態を保っていますから、様々な生き物が観察でき、カヤネズミ、バッタ、カエル、トカゲなども草むらでうごめいています。甲虫はノコギリクワガタを中心にたくさん生息しています。

国のチョウと指定されているオオムラサキの生育調査を、里山の会は20年以上継続してきました。そのような中、直接、葉にとまったオオムラサキの幼虫の姿を観察できる観察棟(高さ3m)を建設し調査をしてきました。8年前には教育棟として4m×10mの屋根を建設し、冬のオオムラサキ越冬幼虫調査で活用しています。

調査を初めて20年が経過しましたが、オオムラサキの成体(飛翔)を確認できたのは4回でした。

今年中学生がオオムラサキの幼虫を里山農園で発見しましたから、この里山周辺で成虫が飛翔していることは事実でしょう。この夏、国蝶オオムラサキを確認できることを期待しつつ、里山に生ける野生生物の採集観察会を開催いたします

集合 9時40分 普賢寺小学校 または 現地、里山農園教育棟  
 場所 里山農園 里山農園 京田辺市水取菰谷 普賢寺小学校から南800m  
 指導 桜谷保之 元近畿大学教授  
 指導スタッフ 野村治(里山の会理事 昆虫担当) 金田徹(里山の会昆虫世話係)  
 持ち物 網 ケース お茶 長靴 帽子 水1L  
 参加費 無料

参加申し込み 事前申し込み 住所 氏名 年齢学年 電話番号  
 子どものみの参加はできません  
 雨天の場合 警報になれば中止 少雨開催の方向  
 連絡先問い合わせ 07740-64-4183

または [fddb257@yahoo.co.jp](mailto:fddb257@yahoo.co.jp)

プログラム 10:00 開会挨拶 諸注意 自己紹介  
 10:10 挨拶  
 10:20 観察開始 農園付近散策  
 11:40 まとめ・交流  
 12:00 感想文を書いて解散

主催 特定非営利活動法人 NPO やましろ里山の会  
 住所 京田辺市田辺深田15 電話 0774-64-4183 (f兼)  
 親子事業として京都交響プロジェクト交付金に申請




## ●「田辺の自然を学ぶ」が開かれます。 7月26日(土)10時から

講師は里山の会がつとめます。多数の皆さんのご参加をお願いします、希少植物や国蝶オオムラサキ・カスミサンショウウオやお茶の色は緑なのか、古事記と桑のお話を準備しています。また松かさツリー作りや竹鉛筆つくりの楽しくて美しく誰でも短時間で作る事が出来る工作の時間もあります。参加は京田辺市文化協会に申し込んでください。工作材料代が有料。

## ●夜の生き物調べ 7月26日(土) 16:00~20:00まで 集合: 里山農園 講師: 桜谷保之先生

生きものを誘いシートと夜間照明を行ってあつまってくる生き物を調べます。これまでは4万匹や2万匹の生き物が集まってきました。今年はどういったものが集まってくるか楽しみです。里山農園付近ではノコギリクワガタなどが沢山トラップに集まってきています。カブトムシは今年は少ないようです。夜の行動ですから小学生は保護者同伴でご参加ください。長ズボン、帽子、手ぬぐい、水筒は必要です。夕食の準備も必要かもしれませんね。参加は里山の会 [fddb257@yahoo.co.jp](mailto:fddb257@yahoo.co.jp) まで氏名・年齢・住所・電話番号・保護者名を記入してください。参加費は無料です。

## ●竹エンピツ10組(2000円)の注文を頂き 納品7月1日

大植さんの知人から注文があり、播川さんが納品されました。使用後はスモールイーゼルとしても使える製品です。木下さんの知恵の力作です。皆さんもぜひご利用下さい。